

Press release

2014 年 4 月 21 日

PRESS-14-10

(オランダ現地時間: 2014 年 4 月 8 日発表)

日本語再編集版。内容や解釈については資料の正式言語である英語が優先されます。

DAWN™ (ドーン) サミットで糖尿病ケアに必要な新たなモデルを宣言

糖尿病のまん延という問題に連携して立ち向かうために、患者さんを中心とした糖尿病ケアが急務

ノボ ノルディスク社(最高経営責任者: ラース レビアン ソレンセン、本社: デンマーク)は、オランダで開かれた第 5 回国際 DAWN™ サミット(Diabetes Attitudes, Wishes and Needs)で、糖尿病ケアに必要な新たな優先事項を発表しました。サミット参加者は、世界 3 億 8,200 万人の糖尿病患者さん¹のために、患者さんを中心としたケアを実現するために連携することを宣言しました。

個々の患者さんにとって最適な糖尿病ケアが患者さん自身、家族、そして医療従事者で行うチーム医療で実現できることは広く認識されているにもかかわらず、それを実施するためのモデルはありません。しかし、2035 年までに世界の糖尿病患者数が 5 億 9,200 万人に達すると予想される¹ 今、糖尿病患者さんの QOL (Quality of Life) 向上のため、患者さんを中心とした医療システム(患者さん一人ひとりの視点に立った医療の構築)が、早急に取り組むべき優先事項です。

第 5 回国際 DAWN™ サミットは国際糖尿病連合 (IDF)、国際患者団体連合 (IAPO) およびステノ糖尿病センターの主催、ノボ ノルディスク社の協賛により開催され、30 カ国以上から 200 名以上の糖尿病の専門家、政策立案者、研究者、臨床医および患者さんたちが一堂に会し、この優先事項に向けてともに取り組むために必要な政策、戦略、方法、そしてベストプラクティスについて議論しました。

本サミットで議論された主な優先事項は以下のとおりでした。

- 各国で、またグローバルで、糖尿病患者さんご家族の声をより広く認識していただく
- 患者さんと医療従事者どうしの信頼関係とコミュニケーションを築き、育成する
- 糖尿病患者さん中心の総合的な自己管理を患者さんご家族がともに学ぶことができる参加型の教育の機会を確保する
- 糖尿病患者さんご家族が差別のない生活を送る権利を法制化する

本調査の日本の主任研究者である奈良県立医科大学糖尿病学講座の石井 均教授は、「今回の DAWN™ サミットでは、患者さんや医療従事者をはじめ様々な立場の人たちが、DAWN2™ 調査から得られた課題について一緒に議論をすることができました。DAWN2™ 調査により、患者さん中心の医療に対する積極的姿勢や、患者さんの心理的状态を知るための医療従事者とのコミュニケーションが日本で不足しているという問題が浮き彫りになりました。このような問題が存在していること自体の認識が日本で低いのではないかと考えます。DAWN2™ 調査の結果を広く紹介し、問題意識を共有するとともに、患者さんと医療従事者が同じテーブルに座り、率直な意見交換を行う機会を増やしていくことが大切であると考えます」と述べています。

IDF の会長でありサミットの議長であるマイケル ハースト卿 (Sir Michael Hirst) は次のように述べています。「グローバルプログラムである DAWN2™ 調査の結果が最近発表されましたが、それによると、糖尿病患者さんが自らのケアの中心となるためには、教育とサポートが必要であることが示されています。本日宣言した優先事項を実現するには、糖尿病患者さんの教育、サポート、そしてケアの在り方が将来にわたって影響が及ぶように、世界の政策立案者や医療提供者に関与してもらうことが、我々の義務であると考えています。そうすることで、患者さん自身が中心となる糖尿病ケアが実現し、世界中の多くの糖尿病患者さんの生活を改善できるでしょう」

2 日間のサミット期間中に参加者は、患者さん自身が中心となる糖尿病ケアを進めるために、各国で実施すべき具体的な段取りや、国および世界レベルで進捗を測るための基本的な目標および指標など、実現可能な戦略を明確化するための議論を重ねました。議論には、各国の患者さんが加わり、自身の経験を語りながら、糖尿病治療の在り方について各種専門家との率直な意見交換が行われました。このような個人のレベルから出発して、どのように社会の考え方を変えていくことができるかが今後の大きな課題です。

第 5 回国際 DAWN™ サミットの結果は、数カ月以内にサミットのパートナー機関によって発表される予定です。

DAWN2™ 調査について

(Diabetes Attitudes, Wishes and Needs/糖尿病に関する姿勢、願い、ニーズ)

DAWN2™ 調査はノボ ノルディスクが国際糖尿病連合 (IDF)、国際患者団体連合 (International Alliance of Patients' Organizations: IAPO)、ステノ糖尿病センター、国や地域および世界的なパートナーと幅広い連携を通じて行ったものです。

DAWN2™ 調査の結果は、糖尿病患者さんやそのご家族を中心に考え、糖尿病ケア、教育、コミュニティのサポートを改善する機会を浮き彫りにしています。DAWN2™ 調査は糖尿病患者さんの生活を改善するためのアクションプランを作るために、患者組織、その他の主要なステークホルダー間の会話を促進するために、使用されます。詳細な情報は www.dawnstudy.com に掲載されています。

ノボ ノルディスク社はインスリンの発見から間もない 1923 年にインスリンの製造販売を開始し、以来 90 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品やデリバリーシステムを開発し、糖尿病ケアをリードしてきました。また、糖尿病に加え、成長ホルモン療法および血友病においても、それぞれの製品領域をリードしています。ノボ ノルディスク社は現在 75 カ国に約 3 万 8,000 人の社員を擁し、製品は 180 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立され、それぞれの製品領域をリードしています。ノボ ノルディスク社につきましては、www.novonordisk.com (英語)にてご覧いただけます。

レファレンス

1 IDF Diabetes Atlas. International Diabetes Federation 2013. 6th edition.

本資料は、重工業研究会、本町記者会へ配布させていただきます。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

100-0005

東京都千代田区丸の内

2-1-1

明治安田生命ビル

Tel: 03-6266-1700

Fax: 03-6266-1801

Internet:

www.novonordisk.co.jp